

APPEAL

発行 者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年11月25日
NO.51

を

秘密保護法案の成立を許すな！！

戦争の足音が聞こえてくる

先日放送された TV 番組で、自民党元幹事長の野中氏は戦前の国家総動員法なども例にあげながら「どうして今、この法律（秘密保護法案）がいるのか、それがわからない。戦争の足音が聞こえてくる」「この法律は恐ろしい方向へ進んでいく危険な感じがして仕方ない」と批判しました。また自民党岸田派の名誉会長の古賀氏は「いたずらに国民に不安を与える法律であることには間違いない」と強調しました。

野党だけでなく与党のかつての重鎮である野中氏や古賀氏からも、批判の声があがっているのになぜ、政府は秘密法案を今国会中に成立させようとしているのでしょうか？秘密保護法案が成立すると、国民は何が秘密になっているのかさえも分かりません。たとえば、自衛隊の活動を特定の秘密にしてしまえば、自衛隊がアメリカとどのような共同行動を行っても一切国民は知ることが出来ないのです。ある日突然、オスプレイが家の上空で軍事訓練を行ったり爆音を響かせた戦闘機が飛来しても、なにも文句も言えないばかりか、そのことを問い合わせると「秘密を漏らした」と逮捕されかねない事態に陥る可能性があります。

平和憲法も形骸化！！

このような状態になれば、憲法 9 条も変える必要もないし、集団的自衛権の解釈の変更をしなくても、自衛隊は軍隊として戦争に参戦出来るようになります。

全ての他労組組合員のみなさん！自民党の野中氏が言うように「戦争の足音が聞こえる」そんな世の中になってもよいのですか？そのような世の中を子供たちに引き継いでいいのですか？私たちの判断が問われています。

秘密保護法案に反対して行きましょう！！